

空飛ぶクルマ実装促進事業補助金事業 成果報告概要

令和8年3月12日

報告1 (2) ビジネスモデルの検証に資する事業 (神戸・但馬)

コウノトリとめぐる空飛ぶクルマ社会実装プロジェクトの推進
および空飛ぶクルマのある「みなとまち神戸」の検討プロジェクト

報告2 (3) 離着陸場設置の準備事業 (淡路島)

御食国淡路島内バーティポート①整備準備 その1 (基本構想・基本設計)

報告 1 (2) ビジネスモデルの検証に資する事業 (神戸・但馬)

コウノトリとめぐる空飛ぶクルマ社会実装プロジェクトの推進
および空飛ぶクルマのある「みなとまち神戸」の検討プロジェクト

コウノトリとめぐる空飛ぶクルマ社会実装プロジェクトの推進および 空飛ぶクルマのある「みなとまち神戸」の検討プロジェクト

本事業の前提となる大目的：県内の空飛ぶクルマ離着陸場ネットワークを構築し、各地のアクセス向上、活性化、賑わい創出に貢献する

■実施体制

<代表事業者(申請者)>

- 兼松株式会社

<協力事業者>

- 株式会社 SkyDrive
- 東京海上日動火災保険株式会社
- Skyports株式会社
- 日本工営株式会社
- 学校法人ヒラタ学園
- 一般財団法人 日本気象協会
- 一般社団法人城崎温泉観光協会
- 城崎温泉旅館協同組合
- 株式会社湯のまち城崎
- 一般社団法人豊岡観光イノベーション
- 全但バス株式会社
- 一般社団法人京都北部地域連携都市圏振興公社 (通称 海の京都DMO)
- 大丸神戸店
- 川崎重工業株式会社

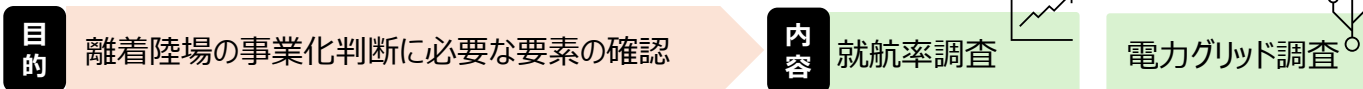
注) 具体的事業化、地域・まちづくりを踏まえた構成を意識

■ねらい

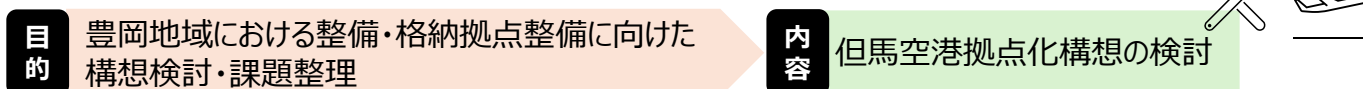
- 城崎温泉、神戸ウォーターフロント (WF) での離着陸場事業、空飛ぶクルマの実装において、昨年度の調査から明らかになった課題に対する深堀調査を実施することで、空飛ぶクルマの事業化に向けた検証を進める。
- 空飛ぶクルマの地域への導入について、地域のステークホルダーや空クル事業者等との合意形成に向けた準備を進める。

■今年度事業概要

調査①：離着陸場候補地における深堀検討調査 (続)



調査②：格納庫等の拠点整備に向けた調査



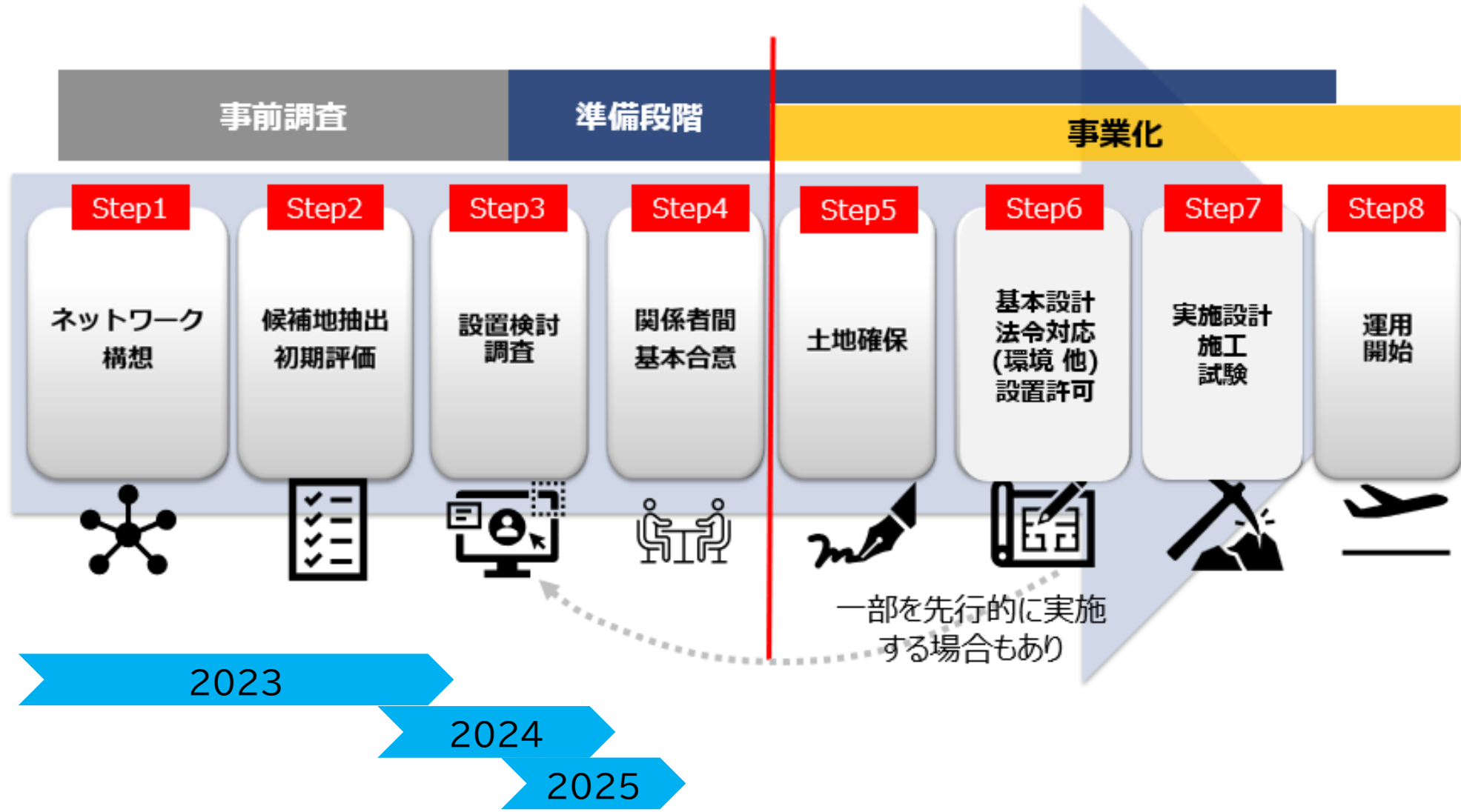
調査③：国立公園における開発許可取得に向けた調査



調査④：合意形成に向けたフィールドワーク









空飛ぶクルマ導入および離着陸場設置プロセスを踏まえた今年度事業の位置付け





1-2. 事業の進捗状況/成果 (2) ビジネスモデルの検証に資する事業 (神戸・但馬)  兼松株式会社

調査
①

調査項目	主な地域	成果目標	主な活動/成果(課題)
離着陸場候補地における深堀検討調査 (続)	但馬	3つの路線 (A.城崎 - 天橋立、B. 城崎 - 神戸、C. 天橋立 - 神戸) における天候事由による就航率を算出し、R6年度に算出した事業構想への影響を確認する	  <p>風速・雲低高度・視程に閾値を設定し、A：1ルート、B：3ルート、C：1ルートの就航率を算出し、以下の示唆を得た</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 雲低高度が就航率に大きく影響 ・ ルートにより就航率が異なることが判明 ・ ルート上でも場所により就航可能性が異なる ・ 昨年度想定した就航率に比して低い値となった。将来のIFR等の運航方式の運航方式の必要性を認識
		電柱への制限表面抵触回避方法が整理できている。	  <p>制限表面への抵触回避のため、送電業者とともに候補地近傍の電柱移設検討を実施。技術的には移設が可能な旨を確認することができた</p>
	神戸	候補地における高圧電源引込の工期・費用・課題が整理できている。	  <p>候補地におけるレイアウト、必要電力、充電器コスト算出等実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 設備配置・電力の概況、充電器に関わるCAPEXの把握ができた ・ 候補地における土地利用や周辺ステークホルダー、制限表面の課題が顕現





1-2. 事業の進捗状況/成果 (2) ビジネスモデルの検証に資する事業 (神戸・但馬) 兼松株式会社

調査
②

調査項目	主な地域	成果目標	主な活動/成果(課題)
格納庫等の拠点整備に向けた調査	但馬	但馬空港の活用、格納庫設置・電源引込等の調査を実施し、同空港の拠点化が構想され、時間軸・課題が整理されている。	<div style="text-align: right;">   </div> <p>但馬空港敷地内の格納庫設置にかかる基本構想(弊社勝手案)を策定</p> <ul style="list-style-type: none"> • 空港内の格納庫適地を選定 • 当該適地における格納庫設置にかかる以下の調査・検討 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 整備作業範囲の定義 ➢ 簡易図面作成 ➢ 充電器設置検討 ➢ 概算整備費・工期の算出 ➢ 法令上の課題 ➢ インフラ引込等の検討 (水道・電気) ➢ 格納庫のパス案を策定 • 運航事業者、但馬空港関係者との意見交換等を実施のうえ、上記構想案に反映





1-2. 事業の進捗状況/成果 (2) ビジネスモデルの検証に資する事業 (神戸・但馬) 兼松株式会社

調査
③

調査項目	主な地域	成果目標	主な活動/成果(課題)
国立公園における開発許可取得に向けた調査	但馬	山陰海岸国立公園の特別地域における環境省の開発許可にあたり、鳥類、騒音、景観調査を進め、環境課題が取りまとめられている。 ＊ただし、各調査には2か年を要するため今年度中の完了は不可。	<div style="text-align: right;">   </div> <p>調査方針の策定し、想定していた調査を概ね実施することができた</p> <ul style="list-style-type: none"> 環境省への調査方針に関する相談を実施 鳥類（コウノトリ以外）の生息状況調査実施 コウノトリのの営巣調査（実施中） 環境音の測定、景観調査を実施
		コウノトリとのバードストライク回避の方法について検討・整理されている。	<div style="text-align: right;">   </div> <p>明確な対策案の策定、検証には至っておらず引き続き検討が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> 県内で豊富な運用経験のある複数のヘリコプター運用者に対するバードストライク対策のヒアリング実施 海外のバードストライク対策機材の探索を実施。コウノトリに実績のある機材を発掘

1-2. 事業の進捗状況/成果 (2) ビジネスモデルの検証に資する事業 (神戸・但馬)  兼松株式会社

調査④

調査項目	主な地域	成果目標	主な活動/成果(課題)
合意形成に向けたフィールドワーク	但馬	空飛ぶクルマ導入に向けた協議会が発足し、城崎温泉での空飛ぶクルマ導入検討ロードマップに沿った取組の管理・情報共有ができています。	  <ul style="list-style-type: none"> 推進協議会の立ち上げ活動に協力し、豊岡市様、城崎温泉観光協会様が中心となり、「コウノトリとめぐる空飛ぶ社会実装プロジェクト推進協議会」が発足 但馬信用金庫様と但馬・京丹後エリアにおける「空飛ぶクルマ」の導入に伴う社会的インパクト検討の実施 <u>シンポジウム</u> “北近畿における空飛ぶクルマ実現に向けて～コウノトリとめぐる空飛ぶクルマ社会実装プロジェクトについて語ろう～”を開催（但馬空港）（2/3） <ul style="list-style-type: none"> ➢ 80名以上参加。97%が北近畿の空クルマ実装に期待 ➢ 但馬・京丹後エリアでの「空飛ぶクルマ」導入に伴う社会的インパクト検討調査結果発表(観光・医療・ビジネス・生活)
		城崎、神戸、天橋立間での連携がとられており、当該路線での空飛ぶクルマの導入の機運が高まっている。	  <ul style="list-style-type: none"> 海の京都エリアの4自治体/事業者を訪問し、但馬での空飛ぶクルマ取組概要等を紹介し、連携打診。現時点では連携に至っていない。 3/28(土)の神戸でのイベント(以下参照)において、豊岡エリアの展示ブースを設置。神戸-但馬の機運醸成
		空飛ぶクルマ導入に向けた先行事業の検討が計画されている。	<ul style="list-style-type: none"> 神戸-豊岡間のヘリ観光プラン(R8年度用)を策定中（3/12時点）
	神戸	昨年度開催したシンポジウムに比して、以下数値が高まっている。 <ul style="list-style-type: none"> ➢ 神戸のまちづくりや地域事業者、住民の参加割合が増加 ➢ 神戸での空飛ぶクルマ導入の期待感の醸成 	<ul style="list-style-type: none"> 以下のイベントを準備中（3/12時点） <ul style="list-style-type: none"> ➢ ①3/27(金) <u>シンポジウム</u> 空飛ぶクルマのある「みなとまち神戸」の未来を語ろう2 ➢ ②3/28(土) <u>展示イベント</u> 明石町筋フリーウォーク 空飛ぶクルマのある「みなとまち神戸」の未来を見に行こう

報告 2 (3) 離着陸場設置の準備事業 (淡路島)

御食国淡路島内バーティポート①整備準備 その1 (基本構想・基本設計)

事業名：御食国淡路島内バーティポート①整備準備 その1 (基本構想・基本設計)

本事業の前提となる大目的：淡路島内に空飛ぶクルマの離着陸場を構築し、アクセス向上、活性化、賑わい創出に貢献

■実施体制

<代表事業者(申請者)>

- 兼松株式会社

<共同事業者>

- Skyports株式会社

<協力事業者>

- 日本工営株式会社
- 他

■目的

- 淡路島内での離着陸場の建設に向けた準備を進める
- 当該候補地での運航計画を立案する

■目標

- 基本構想・基本設計が完了し、次年度以降、開発許可、実施設計・建設を進める準備が整う。
- 瀬戸内海国立公園の特別地域であることを踏まえた開発許可取得に向けた計画立案。
- 運航会社と連携し、短期・中長期の活用計画案を策定。

■今年度事業概要

① 基本構想・基本設計の実施

- フェーズ① 基本構想の実施：離着陸場のコンセプト、施設内容の検討
- フェーズ② 基本設計の実施：設計条件整理、現地調査、施設配置検討
概算工事費算定、関係者説明等の実施

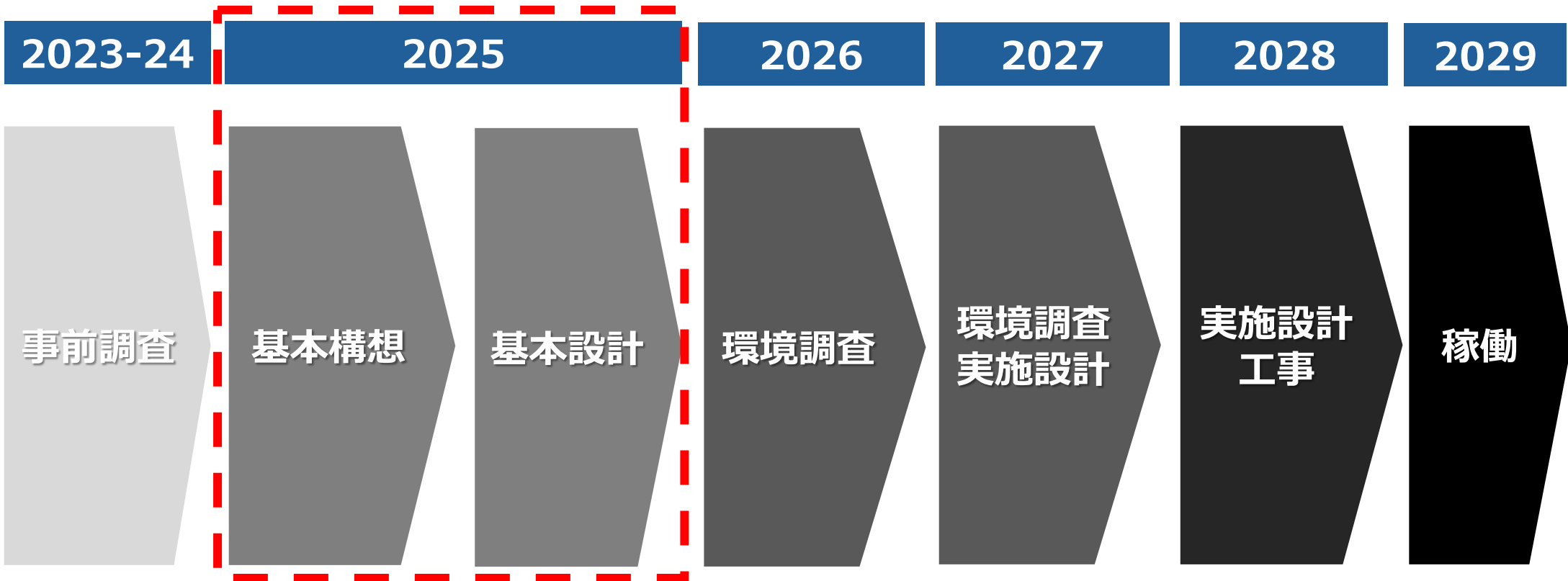


② 活用計画案の策定

- 短期計画：運航事業者と実証利用の条件・ポート与件を整理、
利用方法の計画案を策定
- 中長期計画：運航事業者と商業利用にあたっての構想・時間軸、ポート与件を整理



離着陸場の建設プロセスを踏まえた今年度事業の位置付け



* 西暦の記載は年度



© Skyports

基本設計、環境調査に向けた事前検討が終了

項目	主な実施内容
現地調査・測量	<ul style="list-style-type: none">➤ 施設配置検討や造成設計、充電設備設計、環境検討を行うにあたり、現地踏査および現地測量調査を実施（ドローンによる測量・点群データの取得）
施設配置検討	<ul style="list-style-type: none">➤ 想定されるeVTOLの機体や運航要件に対して、FATOサイズや必要設備を検討➤ 制限表面、敷地状況、ポートへのアクセス道路、景観、工事容易性を考慮した施設配置図を作成
造成設計	<ul style="list-style-type: none">➤ FATOおよび周辺エリア確保のために候補地の造成方法を検討。盛土は擁壁/法面案での検討を実施➤ 盛土に関連し、法面、擁壁構造を設定。費用算出の為、必要土量を算出➤ 周辺の樹木伐採範囲を低減するためにFATOのデッキ構造による嵩上げを検討
充電設備設計	<ul style="list-style-type: none">➤ 充電器メーカーに設置与件を確認➤ 急速充電設備の電源設備要件や単線結線図、設備配置を検討
概算工事費算定	<ul style="list-style-type: none">➤ 基本設計の結果に基づく、土工事、設備工事等の概算工事費を算出
環境法令確認	<ul style="list-style-type: none">➤ 自然公園法に基づく、瀬戸内海国立公園特別地域内の規制行為について課題を整理➤ 今後の環境影響検討について、環境影響評価項目の選定、調査・予測計画の立案
関係者調整	<ul style="list-style-type: none">➤ 運航事業候補者と当該ポートの活用方法に関する意見交換を実施➤ 基礎自治体に適用法令の相談、確認を実施➤ 環境省担当自然保護官事務所に環境影響検討の進め方について相談

成果物一覧

基本設計検討内容

- 現地調査・現況
- 設計方針
- 施設配置検討
- 造成設計
- 舗装構造設計
- 植栽設計
- デッキ構造設計
- 充電設備設計
- 概算工事費算定
- パース図

環境法令・景観等の検討

- 環境法令確認・景観確認
- 環境影響検討に係る計画の立案

未来の福利を しかけよう

ご清聴ありがとうございました

創業の志を引き継ぎ、社会の福利を増やすため、より良い未来を描き、逆算しよう。
そのために、お取引先も気づいていない、真の課題を解こう。
短期的な成果や効率に捉われず、長期的な視点を持とう。

